

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

「二分の口論」で「減給一カ月」とは！

# 当局「動労本部」革マルによる 組織破壊攻撃を許すな

デッチ上げ「動労津田沼支部」のコロビ屋・革マル嶋田誠のタレこみをもって、八月十七日、千葉鉄当局は、千葉運転区支部A君に対し「減給1ヶ月1/10」という不当処分を通告してきた。われわれは、革マル嶋田誠を徹底的に糾弾すると同時に、動労「本部」革マルII当局一体となった組織破壊攻撃に断固対決して闘いぬく決意を明らかにするものである。

「減給1カ月1/10」を通告

当局は八月十七日、千葉運転区支部組合員であるA君に「減給1ヶ月1/10」という処分を通告してきた。支部はA君を先頭に処分の不当性を追及し「処分」の受け取りを拒否して闘いぬいている。すでに、何度も明らかにしてきたように、デッチ上げ「動労津田沼支部長」革マル・嶋田誠は七月二二日、千葉駅の夏季売店でジュースを販売していたが、勤務中通りかかった動労千葉・千葉運転区支部のA君を挑発し、「二二分口論」となったことをもって「業務妨害された」とデッチ上げ、千葉局・本社にタレこみ、A君の「処分」を要求したのである。

当局と動労「本部」にタテつく労働者の首を切る攻撃の端緒

A君に対する「処分」は全く不当であり、断じて許すことはできない。所属する労働組合は違うが、職員同士の「二分の「口論」で、なぜ動労千葉の組合員のみ「処分」されなければならないのか。

これは、当局と動労「本部」革マル一体となった動労千葉に対する組織破壊攻撃である。監視委答申をもって、いよいよ十万人首切り攻撃が開始されようとしているが、動労「本部」革マルは「骨身を削って働く」「三本柱のクリアー」をはじめ、当局に全面協力を誓い、当局の先兵としてたちあらわれている。そして全国の職場において、当局に協力する組合員と非協力組合員との間に格差をつけることを要求している。

すなわち、国労や動労千葉の組合員の首を切り自分達だけは生き残ろうという、実に反労働者的路線である。今回の「事件」は、当局と当局に協力する動労

「本部」革マルにたてつく労働者は、問答無用で「処分」していく攻撃の端緒にほかならない。

革マル・嶋田誠を叩きだせ

嶋田誠は、東洋大学出身の憎むべき革マル反動分子であり、動労千葉破壊の先兵として、「暴力事件」をデッチ上げ動労千葉組合員を権力に告訴した「6・12事件」、革マル学生を先頭とした一五〇名で津田沼電車区を襲撃し、片岡支部長（当時）の頭蓋骨折をはじめ、支部役員全員を負傷させた「4・17事件」の手引、春闘総決起集会に二五〇名でおしかけ、動労千葉との衝突を口実に当局が、布施行委員（当時）の首を切った「4・15事件」の手引等、数々の悪事をくり返してきた。

そして、またも「業務妨害」なるものをデッチ上げ、動労千葉組合員の「首を切れ」と当局に要求し、これを受けた当局が「処分」を通告したのである。われわれは、コロビ屋・嶋田誠を絶対に許すことはできない。必ずや職場から叩き出すことを誓う。と同時に、動労「本部」革マルのタレこみに飛びつき、不当な「処分」を強行し、動労千葉に組織的ダメージを与えようとする当局の反動姿勢を弾劾し、断固として反撃に決起する決意を明らかにするものである。

圧倒的成功かちとり、  
不拔の戦闘体制を築こう

8/31、9/1 青年部 定期委員会  
8/31、9/1 動労千葉 定期大会

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

# コロビ屋・革マル=嶋田の デッチあげタレこみで 当局が不当処分を通告

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！